令和2年
4月19日
読売新聞(朝刊)

2020年度 道内有名大学

TOP MESSAGE

トップメッセージ

小樽商科大学

学長 穴沢 眞

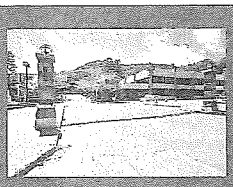
「実学・語学・品格」を教育のモットーに 地域から世界に羽ばたくグローカル人材を育成

本学の最大の特徴は，社会科学の研究者だけでなく、言語学、人文学、自然科学などの研究者が一つの学部に所属し、教職員・学生の間で自由闊達な交流が行われているところにあります。本学の前身である小樽高等商業学校の初代校長の渡邊龍聖は、「実学・語学・品格」を教育のモットーに掲げ、100年以上に渡りこのモットーは、本学の教育研究の理念として、脈々と受け継がれてきました。

本学は、2013年に「No.1グローカル大学宣言」を行いました。グローカルとはグローバルとローカルを一つにした言葉です。そして、この宣言に基づき、北海道経済の発展に寄与する「グローカル人材」を育成すべく、教育改革を推進しています。伝統である「実学・語学・品格」教育に、最新のICT環境で行うアクティブラーニング（能動的学習）やブレンデッドラーニング（オンライン学習と対面授業をブレンドした語学教育）を組み合わせ、新たな教育方法を開発するとともに、その普及と展開に取り組んでいます。

2015年度からは，地域に根差したグローバルリーダーを育成することを目的として「グローカルマネジメント副専攻プログラム」を導入しました。このプログラムをはじめ、本学のカリキュラムには、地域教育・社会実践、英語による経済・経営関連科目の講義、実践的な語学教育、海外留学など、本学がこれまで培ってきた「実学・語学・品格」教育のノウハウを投入しています。

2021年度からは，「グローカルマネジメント副専攻プログラム」を発展させ、主専攻化した「小樽商科大学グローカルコース」を設置します。また、本学入学を1年間猶予し、入学前の海外留学とする「ギャップイヤープログラム」を導入し、これからも更なるグローカル教育に注力していく所存です。



大学構成

●商学部：経済学科／商学科／企業法学科／社会情報学科
●大学院：商学研究科
他7附属施設

お問い合わせ

小樽商科大学 総務課
〒047-8501 小樽市緑3丁目5-21
☎0134-27-5206(代表)
https://www.otaru-uc.ac.jp/

北海学園大学

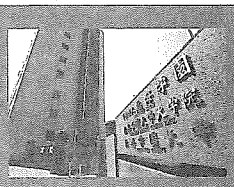
学長 安酸 敏眞

北海道に根差した グローバル人材の育成を目指す

北海学園大学は、1885（明治18）年創設の「北海英語学校」を揺籃としつつ、学校法人そのものとしては135年、4年制大学としては68年（短期大学設立から数えると70年）の歴史と伝統を有しています。本学は現在、道内の最古・最大の私立総合大学として、経済、経営、法、人文、工の5学部と、その上に5つの大学院研究科（修士・博士課程）を擁し、それに加えて専門職法科大学院法務研究科も設置されています。約9万人を数える卒業生は、全道全域においてのみならず道外・海外でも幅広く活躍しています。本学は開学以来、二部（夜間部）の教育にも力を注いでおり、勤労学生に特に配慮して、一部（昼間部）とまったく同内容の授業が約半分の授業料で受講できるようになっています。

北海学園大学は、北海道に根差した大学として、これまで地元の経済・社会・文化の発展に大きく寄与してきました。しかしいまや特定の地域に限定した人材育成の時代は終わり、どの分野でも「世界標準」(global standard)に準拠することが求められています。グローバル化の時代には、グローバル・マインド（世界を射程に入れた思考）を身に付けていることが、社会で活躍するための必須条件なのです。それゆえ、北海学園大学は、北海道の諸課題に積極的に取り組むと同時に、北海道から世界へむけて情報発信したり、国際舞台で活躍したりできるような人材の育成に力を注ぐ所存です。

本大学は昨年三月、法政大学と単位互換学生交流に関する協定を、さらに十二月、カナダのレスブリッジ大学とダブルディグリー・プログラム協定を結びました。また新たに「北海学園大学出版会」を設立し、北海道から広く世界へ知識と情報を発信できる体制を整えました。今後も「北海道から世界に」を合言葉に、さらなる飛躍と向上を目指していく所存です。



大学構成

大学院
●経済学研究科　●経営学研究科
●法学研究科　●文学研究科
●工学研究科　●法科大学院

学部
●経済学部：経済学科／地域経済学科
●経営学部：経営学科／経営情報学科
●法学部：法律学科／政治学科
●人文学部：日本文化学科／英米文化学科
●工学部：社会環境工学科／建築学科／電子情報工学科／生命工学科
※文科4学部(夜間部)を設置しています。

お問い合わせ

北海学園大学
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
☎011-841-1161(代表)
https://www.hgu.jp/

北海道教育大学

学長 蛇穴 治夫

地域の成長・発展に寄与する 北海道教育大学

北海道教育大学は、教師と、地域で活躍する人材を養成して、地域の成長・発展に寄与しています。

【教員養成課程―札幌・旭川・釧路校】"教師に必要なもの"それは使命感と子どもに対する教育的愛情、そして教育に関する基礎的知識・技能と研究力。これらが日々の教育活動を支えます。

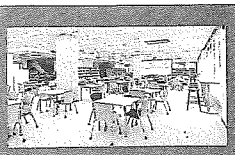
本学では、子どもや学校の理解を促す体験的・理論的科目、教科内容及び指導法に関する科目、実習などを系統的に学べる教育課程を用意しました。受け身になるのではなく、自ら課題意識を持って能動的に学ぶことで、確かな実践的指導力が身につきます。

【国際地域学科―函館校】地域の課題解決には、今や地球規模、あるいは国際的な観点が不可欠です。この学科では地域学を国際的な視野をもって統合的に理解し、実践力を身につけます。

地域協働専攻：国際協働、地域政策、地域環境科学の各グループに分かれますが、国際社会や地域社会の仕組みを理解するための人文・社会・自然科学の知識と英語力、そしてコミュニケーション力を身につけ、国内外でのフィールドワークを通じて、グローバル化が進行する社会で必要とされる、"地方創生"に力を発揮する人材を養成します。

地域教育専攻：子どもの国際的視野・異文化理解を促す指導力を持ち、いじめや不登校などに苦しんでいる子どもや特別なニーズのある子どもの支援に先導的に取り組む小学校教員を養成します。

【芸術・スポーツ文化学科―岩見沢校】音楽や美術、スポーツの技量を磨くだけでなく、それらが人を慰め、元気づけ、一体感や絆を生み出す社会的な機能を持つことを実践を踏まえて学びます。さらには、芸術・スポーツ文化が持つ経済効果を踏まえた新たな文化ビジネスを構想し、芸術やスポーツによる"生き甲斐づくり・まちづくり・健康づくり"を牽引する人材を養成します。



大学構成

●教育学部
教員養成課程
国際地域学科
芸術・スポーツ文化学科
●大学院教育学研究科
修士課程
専門職学位課程(教職大学院)
●連携教育特別専攻科

お問い合わせ

北海道教育大学 総務課
〒002-8501
札幌市北区あいの里5条3丁目1-3
☎011-778-0206(総務課代表)
●特設サイト
明日を支える（創造）になろう。
https://www.hokkyodai.ac.jp/teaching/elem-sch/
小学校教員のインタビュー動画や学校の先生を目指す皆さんへメッセージが掲載しています。

令和2年　4月19日
読売新聞(朝刊)

北星学園大学・北星学園大学短期大学部

学長 大坊 郁夫

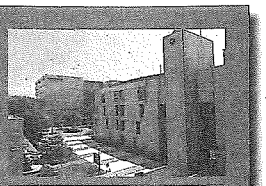
豊かな人間性を磨き、グローバルな社会性を築く「北星」の学び

北星学園大学は1962年に開学し、2002年には1951年開学の北星学園女子短期大学を短期大学部として現在に至っています。一貫してキリスト教による「愛と知と技」に基づく教育によって、人間性、社会性、国際性を備えた人財を育てることを旨としてきました。容易には解決できない多くの課題に直面している現代において、国際的な視野のもとに、自ら誠実に考え・行動し、持続可能な価値ある社会を築くことのできる「社会人」を育てることが本学の教育の目的です。

カリキュラムの面では実践性のある専門教育に加えて、共通・教養科目の充実を図っております。大学共通、外国語、国際交流科目などを幅広く履修することができます。さらに、学びの拡がり、深化を図るために特定のテーマについて深く学ぶことのできる副専攻制度を導入しており、自分の所属する専攻の他にドイツ語、韓国語などの語学分野、心理学、国際関係論、経済法学などの専門科目、人間科学など14種類の副専攻を用意しております。

道内屈指の充実した国際交流も本学の特徴であり、現在、欧米、アジアの18大学と提携し、交換留学の制度も充実しています。所属の専門にかかわらず、毎年20～30名の学生が1年間の留学を経験しています。さらに、国内の9大学3短期大学部間での単位互換制度もあり、約700科目の互換科目が用意されています。図書館や情報実習室、ラーニング・コモンズ、留学生との交流を深められる国際ラウンジなどの施設設備も快適です。

学生同士のみならず、学生と教職員とのコミュニケーション機会は多く、人間を考える深い学びとともに、人とのつながりを実感できる充実した大学生活をおくることができます。



大学構成

【大学院】
●文学研究科 ●経済学研究科
●社会福祉学研究科

【大学】
●文学部・英文学科／心理・応用コミュニケーション学科
●経済学部・経済学科／経営情報学科／経済法学科
●社会福祉学部・福祉計画学科／新潟臨床学科／福祉心理学科

【短期大学部】
●英文学科 ●生活創造学科

お問い合わせ

北星学園大学 北星学園大学短期大学部
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
☎011-891-2731(代表)
https://www.hokusei.ac.jp/

北海商科大学

学長 森本 正夫

アジアの時代に、アジアを学ぶ「商学」で新たな礎を築く、もうひとつの学園

本学は、北海学園大学の姉妹校として、学園創設以来の建学精神である地域に根ざした「開拓者精神の涵養」を継承。社会の急速なグローバル化の動向と新事態に対応するために、「アジアの時代にアジアを学ぶ」ことを教育目標に掲げ、教育研究を展開してまいりました。多様な価値観を内包する世界において、東アジア、とくに北東アジアの中国・韓国を主とする地域に注目し、新たな動きに対応できる人材育成の教育研究体制を確立。「アジアの中の日本」を自覚しながら、アジアで共生していく構想力と実践力を培うことを目指しています。

本学では、学生として対等に異文化交流ができる語学力を身につけた人材が輩出され、この特色ある教育方式は、今や「アジアを学ぶ大学」として評価を受けるようになりました。

近年の日本をとりまく急激な環境変化のなかで、最高学府として社会的役割を担う大学は自己改革を迫られています。学生はかつてないほどに多様化への対応力が必要です。伝統的な「知識伝授の場」としての大学から、さらに実践力を発揮できる人材の育成が国内外から求められています。

したがって、大学自体が教育研究における使命や理念に基づき、論理的思考力や豊かな構想力を備えた、リーダー的存在になりうる人材を育成し輩出することが重要です。

また、これまでの学部教育を深化発展させるために、大学院商学研究科ビジネス専攻修士課程及び、博士後期課程を開設し、実践的な研究者の養成と専門的な職業を担うために卓越した能力を有する人材を養成し、地域社会への貢献を果たすことを目的にしています。

大学構成

●大学院・商学研究科ビジネス専攻
　修士課程／博士後期課程
●商学部・商学科／観光産業学科

お問い合わせ

北海商科大学 入試係
〒062-8507 札幌市豊平区豊平6条6丁目10
☎011-841-1161(代表)
http://www.hokkai.ac.jp

北海道情報大学

学長 澤井 秀

学びから学生生活、就職まで一人ひとりの夢に応える教育環境

本学は1989年に創立され、以来30年以上に渡って情報化社会が求める人材の育成と新しい教育の創造に大きな足跡を残してきました。この間、情報技術は急速な発展を遂げ、社会の仕組みや人々の生活は多様化しています。大学生を取り巻く環境もまた多様化し、学生一人ひとりの学び方や可能性も多方面に広がって、それに応じた柔軟な教育が求められています。本学は情報系の総合大学として、基礎から最先端までの知識と技術を身に付けると同時に、経験豊富な教員を通じて実社会を見聞し、海外の大学と交流して国際感覚を養うことで、幅広く多様な情報の世界で活躍できる人材の育成に努めています。

本学には、システムやアプリケーションを「作る」、ビジネスや医療の現場で「使う」、感情や芸術性を「表現する」、ネット上を飛び交う情報を「守る」といったさまざまな分野が広がっています。例えば、21世紀の高度情報化社会で活躍するために必要なAI、ビッグデータ解析、ネットセキュリティなどの最新技術、あるいは情報システムの設計・構築を担うシステムエンジニアになるための専門的知識とスキルの習得、人工衛星から送られてくるデータの利用技術、eスポーツなどのゲームやコンピュータグラフィックス、アニメーションなどの制作技術、医療や健康に関する情報の管理・活用に関する知識とスキルの会得など、情報技術に関することは何でも学ぶことができます。

本学では大学生活や将来の進路についても、個々の学生の個性や感性を育むための手厚いサポート体制を構築してきました。そして、学生の皆さんが悔いのない青春を謳歌していただくことに対して、教職員一同、後押しを惜しまず、やさしく見守っています。

大学構成

●経営情報学部
　先端経営学科
　-ビジネスデザイン専攻
　-地域ビジネス専攻
　システム情報学科
　-システム情報専攻・宇宙情報専攻
●医療情報学部
　医療情報学科
　-医療情報専攻・臨床工学専攻
●情報メディア学部
　情報メディア学科
　-メディアデザイン専攻
　-メディアテクノロジー専攻
●通信教育部
　経営ネットワーク学科・システム情報学科
●大学院　経営情報学研究科
　ビジネス情報専攻・メディア情報専攻・宇宙専攻

お問い合わせ

北海道情報大学 広報室
〒069-8585 江別市西野幌59-2
0120-83-4411(フリーダイヤル)
https://www.do-johodai.ac.jp/

令和2年　4月19日
読売新聞(朝刊)

北翔大学・北翔大学短期大学部

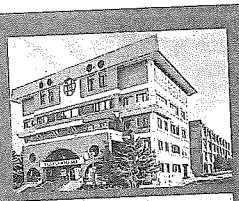
学長 山谷 敬三郎

課題に「気づき」、人に「よりそう」学びで 地域社会の期待に応える人材を育成

本学園は1939年に創設され、"地域社会の期待に応える実学"を重視した教育は「北海道女子短期大学」から「北翔大学」へと受け継がれてきました。80年以上にわたり培われてきた姿勢、それは人に「よりそう」ことです。

大学に5学科、短期大学部に2学科を擁し、スポーツ、福祉、教育・保育、芸術、心理、ビジネスといった学びを探求しています。これらに共通していることは、人によりそう人材を養成していることです。学生が地域社会で活躍できる力を確実に身につけるため、企業や学校、福祉施設などで学びの成果を活かした活動や、ボランティアなどを行っています。地域の方々と実際に触れ合うことで、相手によりそうために必要な「気づき」や「課題解決力」を養っています。教職員もまた学生によりそうことを大切にし、その意欲に応えています。昨年度も教員採用試験で北海道の私立大学としてはトップの134名が合格し、そのほかにも卒業生は公務員、スポーツ関連職、福祉職、心理職、保育・幼児教育職、金融や情報関連等のサービス職など多様なフィールドで活躍しています。目標に向かって前向きに取り組む学生が多くいて、その学生たちを教職員が連携しながらサポートを継続して行う大学こそが優れた大学であると私は考えます。

本年は新型コロナウイルスの感染および拡散防止の観点から、学生とご家族の健康を第一に考え、卒業式・入学式を中止としました。本学としては誠に残念な事態でありますが、学生のみなさんが安心して学生生活を送れるよう教職員一同、尽力してまいります。これからも人に「よりそう」大学を標榜し、地域社会に必要とされる人材育成に努めていく所存です。



大学構成

- 生涯スポーツ学部
  スポーツ教育学科／健康福祉学科
- 教育文化学部
  教育学科／芸術学科／心理カウンセリング学科
- 短期大学部
  ライフデザイン学科／こども学科
- 大学院
  人間福祉学研究科／生涯学習学研究科
  生涯スポーツ学研究科

お問い合わせ

北翔大学・北翔大学短期大学部
〒059-95(1) 北海道白老郡白老町字文京台23番地
☎011-386-8011(代表)
http://www.hokusho-u.ac.jp

北海道文教大学

学長 渡部俊弘

グローバル、不確実な社会に、実習体験で創造力を磨く人材育成

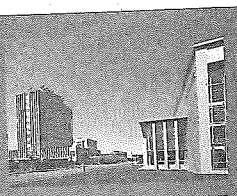
学校法人鶴岡学園・北海道文教大学は1942年(昭和17年)、北海道女子栄養学校を母体として、北海道栄養短期大学を経て発展してまいりました。創設者であり、北海道・栄養学校の母と呼ばれる鶴岡トシ先生は、「人が生きていくためには"食"することが一番大切である」と調理・料理・栄養学を重視していました。その考えが引き継がれています。

近年、東日本大震災での原発事故や新型コロナウイルスなど、「想定外」と呼ばれる事態が起こっています。一方、社会構造変革の一つとして人工知能(AI)をはじめとした技術革新が私たちの生活を劇的に変えてしまう時代が始まっています。グローバルな変化がある時代、教育にはコミュニケーション、協働、創造性が必要となります。

北海道文教大学では、「豊かな人間性を涵養するため幅広い知識を授けるとともに、理論と実践にわたり深く学術の教育と研究をおこない、国際社会の一員として世界の平和と人類の進歩に貢献し得る人材の育成を目的とする」という理念に則した実学教育を展開しています。外国語・保健医療・栄養・教育の第一線に優れた人材を輩出し、各界から評価を高めてきました。また、開かれた大学として地域社会との連携を深め、学生と教職員が一体となって地域の発展に寄与する取り組みにも力を入れています。

4年間の充実したキャンパスライフを通じて、未来を拓く専門的な実力と豊かな人間性を磨いてください。本学教職員は、皆さんの目標を全力でサポートします。

【実就職率(2019年5月1日現在)】
100%[就職決定者数505名　就職希望者数505名]



大学構成

- 国際学部(2021年4月開設(構想中))
  国際教養学科／
  国際コミュニケーション学科
- 人間科学部(管理栄養学科／
  理学療法学科／作業療法学科／
  看護学科／こども発達学科)
- 大学院(グローバルコミュニケーション研究科／
  管理栄養科学研究科／
  リハビリテーション科学研究科／
  こども発達学研究科)

お問い合わせ

北海道文教大学 入試広報課
〒061-1449 札幌市豊平区中央5丁目196-1
☎0120-240-552
http://www.do-bunkyodai.ac.jp